

わたしの
ハマライフ やりたいことと
場所が結びついて

～辻村草太 さん～

【東京都世田谷区→浜名区貴布祢】



2024(令和6)年に東京都から
Uターンし、浜松の暮らし「ハマライ
フ」を送っている辻村草太さんにお
話を伺いました。辻村さんは浜名区
に住み、天竜区で仕事をしています。

―30代でUターンした辻村さん。
地元に戻ることを意識したのは、
いつ頃からですか―

東京の大学に進学し、そのまま東
京で就職しましたが、いずれは浜松
に戻ろうと思っていました。

なかなかタイミングをつかめず
にいた中で、結婚して、これから子
育てをするなら僕自身が生まれ育
った場所がいいと思ったのが大き
なきっかけです。親や祖父母の暮ら
しにも寄り添いたいと思いました。

―東京で参加した移住フェアでは
どのような相談をしましたか―

相談というよりも、市の移住
コーディネーターと話をして、浜
松の様子や浜松で活躍している人
のことを聞くのがすごく楽しかつ
たです。親や元々の知人がいるこ
とに加えて、移住する前に移住
コーディネーターとのつながりが
できたのは、心強かったです。

移住関連の補助金の申請方法な
ども、親身に教えてくれました。

―高校時代に住んでいた頃と今
とで、地域の変化を感じますか―

浜名区には、昔も今も変わらない
良さがあると思います。

犬の散歩で近所の田んぼ道を歩
く時、遠くに山々が見えて電柱があ
るような何気ない田園風景が、しみ
じみ美しいと感じます。

高校の頃にも眺めていた風景が、
かけがえのない大切なものだとい
うため感じ、自分の「軸」を取り戻
せたような感覚になります。

―今はどんな仕事をしているの
ですか―

俳優を支援するための会社を立
ち上げました。前職で芸能事務所
のマネージャーをしていたことか
ら、天竜区の古民家を拠点に、演技
の合宿を主宰しています。

参加者は主に東京や大阪の20代
の人たち。森林浴をしたり、川に行
ったりしながら自分の演技と人生
に向き合います。

時折、地域の人たちが話しかけ
てくれます。最近の地域の様子な
ど、世間話が多いです。合宿の参加
者にも気兼ねなく話してくれて、
参加者のほっとするひとときにな
っているようです。地域の人たち
の心の広さ、親しみやすさがあり
たいです。

―浜松の中山間地域の魅力を教
えてください―

何もないわけではないし何かあ
るわけでもない、そのバランスが
ちょうどいいと感じています。合
宿の参加者は「またここに帰って
きたい」と言ってくれます。

僕にとっても、大都会で仕事し
ていて過度に背負ってしまった
ものを勝手に下ろしてくれるよう
な、安心感を得られる環境です。活
動を一層広げて、浜松からすてき
な俳優を輩出するのが夢です。

―移住を考えている人へメッセー
ジをお願いします―

Uターンしてから、地域に何を
還元できるかをよく考えるようにな
りました。地域の人たちの寛容
さや、自然の近さがそうさせてく
れるのかなと思います。

浜松なら誰もが自分の居場所を
見つけて、自分の可能性を広げら
れるのではないのでしょうか。



「お気に入りの場所は白倉峡です」
(辻村さん撮影/天竜区龍山町)